



## 日本政府が CEPI のパンデミック対策計画に 3 億ドルの拠出を誓約

ノルウェー、オスロ-2022年2月25日：感染症流行対策イノベーション連合（CEPI）は本日、将来のパンデミックや感染症の流行のリスクを減らすことを目的とした CEPI の野心的なグローバルプランへ、日本政府が 3 億ドル（約 345 億円）を拠出するとして誓約を歓迎しました。この誓約は、日本政府の CEPI とグローバルヘルスセキュリティの布石の一つであるワクチンの公平な分配という方針へのコミットメントを再確認するものです。

CEPI の計画は、すでに知られている疾病（ラッサ熱、中東呼吸器症候群(MERS)、ニパウイルス感染症等）のワクチンを開発することにより、また新型コロナウイルス感染症対策で進歩した科学的知見をもとに、パンデミックを起こしうる未知の病原体「X 病」への対策を事前に進め、感染症の流行やパンデミックによるリスクを低減しようとするものです。

今回の拠出は、世界が新型コロナウイルス感染症の急性期を終わらせようと努力している重要なタイミングに行われるもので、世界が来るべきウイルスの脅威に備えるために大きな意味を持ちます。日本からの資金は、あらゆる変異株に有効な「変異株対応型」の新型コロナウイルスワクチン、全てのベータコロナウイルス属感染症により広範に対応するワクチンなど、CEPI の次世代新型コロナウイルスワクチンの開発にも活用されます。

**日本政府からの声明:**「*現下の新型コロナへの対応及び将来のパンデミックへの備えのために、CEPI との連携を強化していくことを確認しました。CEPI に対する貢献は、パンデミックという人類共通の課題に対応する上で大きな意義を有するものであり、また、我が国自身のワクチン開発・製造を一層促進する上での一助となり得ます。今後とも、日本政府は、国際社会のワクチン開発及び製造に積極的に貢献していきます。*」

**リチャード・ハチェット CEPI 最高責任者のメッセージ:**「*日本政府は、すべての人が安全でなければ誰も安全ではないという使命を以前から認識し、支援してくださっています。日本は、2016 年に合意された「国際保健のための G7 伊勢志摩ビジョン」で CEPI 創設の道筋をつけた国で、また CEPI 創設時の資金提供国でもあります。CEPI の成功は、日本の皆さんによるところが非常に大きくなっています。日本の人々と世界の人々を来るべきパンデミックから守るために欠かすことのできないこの投資について、岸田文雄内閣総理大臣に御礼申し上げます。*」

来年の G7 首脳サミットの開催国として、また強靱な医薬品セクターと世界トップレベルの研究機関や科学技術を持つ国として、日本はグローバルヘルスセキュリティとパンデミック対策強化に大切な役割を期待されています。今後日本と CEPI の科学分野における協力が一層進むことを楽しみにしています。日本のリーダーシップと力強いコミットメントを称賛し、来月開かれるグローバルパンデミック対策サミットで各国に日本の後に続くように働きかけていきます。」

本日の日本政府の誓約は、3 月 7~8 日に開かれるグローバルパンデミック対策サミットに先駆けられたものになります。英国政府との共同開催となるサミットは、CEPI の 35 億ドル規模の 5 年計画に必要な資金を集めること

を目的としています。この5か年計画は、革新的でアクセスにフォーカスした研究開発プログラムを可能にし、新しい疾病と闘うための安全で効果的、かつ世界中でアクセスできるワクチンをわずか100日で開発することを促進することを目的としています。

サミットでは、各国政府、産業界、慈善団体、学界、市民団体などのリーダーが一堂に会し、G7とG20で策定された「[100日ミッション](#)」というこの意欲的なゴールをどのように実現するかが議論されます。

CEPIの最大資金提供国の一つとして、日本はパンデミック対策と新型コロナウイルス感染症対応において中心的な推進力となっています。この2年間、CEPIが共同で主導するCOVAXを含め、ワクチン接種を進める多国間協力への日本からの支援は非常に重要でした。モデルナ、アストラゼネカ、日本でも生産が始まる予定のノババックスなどのワクチン開発に対してCEPIが初期投資をできたのも、日本などによる支援のおかげでした。

—以上—

#### 報道関係者各位

- 感染症流行対策イノベーション連合（CEPI）は、英国政府との共催で、ワクチン研究開発資金を集めるためのサミットを開催します。2022年のグローバルパンデミック対策サミットは、英国とCEPIの目標である、ワクチン開発期間を現在の3分の1にあたる100日間に短縮するという目標を支援します。これにより将来起こりうるパンデミックを回避し何百万人の命を救うことができる可能性があります。
- イギリス、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ウェルカム財団からの拠出誓約は直近数週間に発表されています。
- CEPIの35億ドルの計画の詳細はこちらをご覧ください。<http://www.endpandemics.cepi.net>

#### CEPIについて

CEPIは、将来起こり得る感染症に対するワクチンを開発するため、2017年のダボス会議で発足した、公的機関、民間企業、慈善団体、市民団体などが連携する革新的なパートナーシップです。新型コロナウイルス感染症発生以前のCEPIは、エボラ出血熱、ラッサウイルス、中東呼吸器症候群（MERS）、ニパウイルス、リフトバレー熱ウイルス、チクングニアウイルスに対するワクチン開発に注力していました。これらの病原体に対するワクチン候補を20種類以上開発してきました。CEPIは、未知の病原体（X病）に対するワクチンを急速に開発するための新しいプラットフォーム技術にも投資しています。

現在のパンデミックにおいては、CEPIはSARS-CoV-2ウイルスとその変異種に対するワクチン開発のため、スピード、規模、アクセスに焦点をあてた複数のプログラムをローンチしています。これらのプログラムは、新型コロナウイルス感染症が現れる前にCEPIのパートナーによって開発されたスピード対応プラットフォームや新しいコラボレーションを活用しています。目標とするのは、安全で効果的な新型コロナウイルス感染症ワクチン候補の多様なポートフォリオの臨床開発を促進し、COVAXを通じてこれらのワクチンを世界に公平に分配できるようにすることです。

CEPIの5か年計画は、35億ドルのロードマップとして、ワクチン開発期間を100日に短縮し、新型コロナウイルス感染症と他のベータコロナウイルス属感染症に広範に対応できるワクチンを開発し、既知と未知の病原体に対応するワクチン候補の「ライブラリー」を作るというものです。計画はこちらからご覧ください。<http://www.endpandemics.cepi.net>

CEPI の [ニュースページ](#) をフォローして最新情報をご覧ください。Twitter で [@CEPIvaccines](#)、[@DrRHatchett](#)、  
また [LinkedIn](#) をフォローしてください。

メディアからのお問い合わせ

**CEPI**

Email: [press@cepi.net](mailto:press@cepi.net)

Phone: +44 7387 055214